

年 組 名前:

問1

次の漢字の読み方は何ですか。

- ・余儀 「                   」
- ・苦渋 「                   」
- ・異名 「                   」
- ・圧巻 「                   」

問2

1人の走者も許さない完全試合を史上最年少で達成したロッテの佐々木朗希投手が持ち続けている「秘めた決意」とは何ですか。

.....

.....

.....

問3

佐々木投手は高校時代に「令和の怪物」と騒がれました。その理由を書いてください。

.....

問4

夏の全国高校野球選手権岩手大会で、前日の準決勝で129球を投げた佐々木投手を、故障回避の観点から決勝に登板させずチームは敗れ甲子園出場を逃しました。この選択に賛否両論が巻き起こりましたが、あなたはどのように思いますか。

.....

.....

.....

プロ野球ロッテの佐々木朗希投手(20)が10日、千葉市のZOZOマリンスタジアムで行われたオリックス3回戦で史上16人目、16度目の完全試合を達成した。1994年5月18日に巨人の植原寛己が広島戦でマークして以来28年ぶり、20歳5カ月での達成は史上最年少。

佐々木投手をマウンドに駆り立ててきた原動力が、東日本大震災で亡くした家族への強い思いだ。岩手県陸前高田市生まれ。11年前の津波で、父と祖父父母が犠牲となった。天国で見守ってくれている親族へ「活躍する姿を見せることが一番の恩返し」という秘めた決意は、月日が流れても変わらない。

兄の影響を受けて野球を始め、父功太さん(当時37)はキャッチボールに付き合ってくれた。被災当時は小学3年。家が流され、同県大船渡市への移住を余儀なくされ

### 佐々木朗 28年ぶり完全試合

学校のグラウンドには仮設住宅が建ち、河川敷などの空き地で練習した。「改めて当たり前がどれだけのすごいことなのかを感じた。その経験が自分に生きている」。逆境を乗り越え、強い心が育まれた。

同県立の大船渡高に進み、エースとして活躍。3年時の2019年4月には球速163kmをマークし「令和の怪物」と騒がれた。「野球に夢中になれる時間があったおかげで、大変だった時、つらい時も頑張れた」と話したことがある。

夏の全国高校選手権岩手大会では故障回避の観点から当時の監督が決勝に登板させず、チームは敗れて35年ぶりの甲子園大会出場を逃した。前日の準決勝で129球を投げ続けていたとはいえ、苦渋の選択に賛否両論が巻き起こった。同年のドラフト会議で4球団の1位指名を受け、翌年にロッテに入団した。

震災から10年の節目となった昨年3月11日には「震災当時は、たくさんの人から支えられ、頑張ることしかできなかつた。今はその時とは違つて、勇気や希望を与える立場にある」と覚悟を語っていた。その言葉通りに昨年1軍デビューし、プロ初白星もマークした。そして、プロ3年目で初めて開幕ローテーション入りを果たし、主力としての活躍が期待される今シーズン。「怪物」の異名にふさわしい圧巻の投球で、球史に名を刻んだ。

――関連記事17、26面

(2022年4月12日付 山梨日日新聞 1面)